

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

2012
No. 549

12

復興へ 今、立ち上がる

10月28日に行われた田野畑中学校文化祭。全校創作劇は、戦後の復興への思いに震災からの復興への気持ちを重ね、役者やスタッフが気持ちを一つに作りあげた。写真⑤主人公・伝助（道下遼君・3年）と⑥伝助の幼なじみ・義三（菊池領太君・3年）。関連記事は16ページ

東日本大震災から1年8カ月

平成24年11月21日

しおさい
潮騒の宿

ホテル羅賀荘 リニューアルオープン



①村の復興を祈念した打ち上げ花火。冬の澄んだ夜空に大輪の花が咲いた②営業再開を祝い達増知事(右から2人目)や上机村長(同4人目)などが鏡開き③玄関を入った1階の右側にはフロントを配置。売店は正面に配置④朝食会場は2階の海が見える場所に移動⑤大浴場で入浴後はリラクゼーションスペースでくつろげる⑥客室の窓からは太平洋を望む大パノラマが広がる

テロル羅賀荘は、本県沿岸北部の中心的観光宿泊施設として重要な役割を果たす。再開を期に、ますますの発展を祈る」と祝辞を述べました。

経済産業省東北経済産業局の山田尚義局長、復興庁岩手復興局の井上明局長の祝辞に続き、営業再開を祝つての鏡開き。「ヨイショ」の掛け声に合わせ、三つのたるの鏡が開かれると、会場は大きな拍手に包まれました。

アトラクションは、田野畑中学校特設太鼓部。「希繫キズナー」などの力強い太鼓演奏が会場に響き渡りました。

パーティーの最後には、羅賀荘前の漁港から、村の復興を祈念して花火を打ち上げ。パーティー会場の他、県道沿いなどに多くの人が訪れ、冬の夜空に打ち上がる花火に歓声を上げていました。

リニューアルした羅賀荘は、宿泊部屋を4階以上に変更。3階は個室宴会場とし、大浴場もリニューアル。67室、最大収容人数336人と震災前より3割近く減りましたが、津波からの安全対策を図りました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災。本県の沿岸部も大きな被害を受け、ホテル羅賀荘も津波の直撃で、3階まで被災しました。

今年4月には復旧工事を開始。営業再開に向けて、大規模改修を進めてきました。

11月5日には入社式を実施。震災により一度は離職を余儀なくされた人や新採用者など47人が入社。営業再開に向け、さまざまな準備を進めてきました。

そして11月21日、復旧工事が完了し、いよいよリニューアルオープンを迎えました。

同日行われた完成披露パーティーで代表取締役社長の上机荒治村長は「大震災では幸い、お客様や従業員にけが人などは出なかった。そして本日、さまざまな支援のおかげで再スタートすることができた。この営業再開は本村復興のシンボル。そして、沿岸部全体に影響を与えるものになるはず。まだまだこれからが復興の正念場だが、村の経済と体験型観光の一翼を担っていきたい」とあいさつ。

達増拓也岩手県知事は「ホ

サービス 菊地 サツ子さん



羅賀荘の再開を心待ちにしていた。私にはやっぱり接客業が一番似合っている。再開してお客様と接することで、自分自身とても生き生きできた。これから接客を楽しみながら働いていきたい。

売店 畠山 和子さん



営業再開はうれしかったが戻るのは正直、迷いや不安もあった。でも戻ってきて楽しいうれしい。入浴やラーメン食べになど、皆さんが足を運びやすく気軽に来られるホテルにしていきたい。

料理長 下村 孝志さん



復興のため、活性化のために頑張りたい。地物をたくさん使い、手作りにこだわった料理で、少しでもお客様に喜んでいただければうれしい。調理場11人で協力しておいしい料理を提供していく。

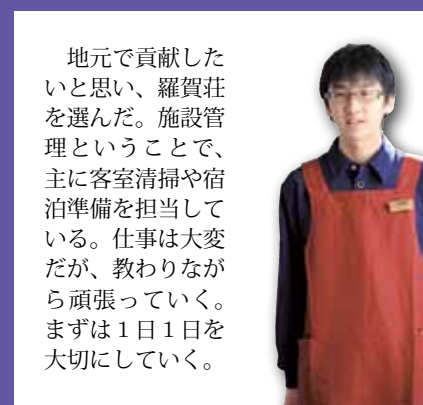
従業員の皆さんに
営業再開の喜びを聞きました

サービス 千葉 希さん



慣れ親しんだ職場だけど、立派になってちょっと緊張している。でもやっぱり笑顔で接客したい。お客様の「おいしかったよ」「ありがとう」の言葉が私のやる気につながる。笑顔を忘れず頑張る。

施設管理 佐々木 翔真さん



地元で貢献したいと思い、羅賀荘を選んだ。施設管理ということで、主に客室清掃や宿泊準備を担当している。仕事は大変だが、教わりながら頑張っていく。まずは1日1日を大切にしていく。

フロント 佐々木 卓也さん



正直、再開にはもう少しかかると思っていたので、招集されたときはとてもうれしかった。田野畑に来ていただいた皆さんに喜んでいただける宿を目指し、チームワークで頑張っていく。



表彰を受ける特設太鼓部の小野光太郎

オープニングを飾ったのは、田野畑中学校特設太鼓部。復興太鼓「希繫ーキズナー」など力強い音色と華麗なばちさばきで大会の幕を開けてくれました。

開会にあたり石岡三郎教育長は「子どもを含めて学校、地域、行政が一体となって復興を担う子どもたちを育んでいこう」とあいさつ。教育振興運動の重要性とさらなる充実の必要性を訴えました。

表彰式では、多年にわたり教育振興運動に功績のあった皆さんに功労賞、栄誉賞を授与。功労賞を受賞した大宮神楽伝承保存会長の下坂弘次さんは「受賞は地域の皆さんのご指導、ご支援、ご協力のおかげ。この受賞を励みに、これからも地域や村の発展につながるような活動をしていきたい」と喜びを話していました。

推進事例発表では、田野畑地区推進委員会の畠山寿一さんが菅窪鹿踊伝承活動などを紹介。「活動の中心は菅窪鹿踊伝承活動。今後は全児童や中学生も一緒に活動する事業を検討・実施していく」と活動を振り返りました。

初めての取り組みとして「復興子ども会議」も開催。小中学生が思い描く村づくりを発表してもらい、一緒に村の将来を考えました（詳しくは6～8ページに掲載）。

講演会では、タレントのダニエル・カールさんが、自身の子育ての体験談などを日本語と英語の違いを交えながら楽しく講演。親子でコミュニケーションをとることの大切さを訴えました。

本村の教育振興運動は昭和40年に始まり、48年を迎える歴史ある運動。この間、中学校や小学校の統合など、さまざまな教育環境の変化にも対応しながら活動を推進してきました。つどいの参加者は、講演や事例発表などとおして運動の成果を確認しながら、教育振興について理解を深めました。

教育の日のつどいは、例年1月に開催していた教育フォーラムに代わるもので、11月3日の村教育の日に合わせて開催したもの。今後も村の教育振興を考える日としてつどいを開催していきます。

■平成24年度村教育振興運動表彰受賞者の皆さん



佐々木 泉さん
甲地・43歳

【功労賞・個人】

旧沼袋小学校PTAで厚生部長など各部部长を歴任。長年にわたり沼袋スポーツ少年団事務局長としてスポーツ活動を支えるなど、学校教育やPTA活動、地域の教育振興運動の推進に貢献している。

【功労賞・個人】

小学生から菅窪鹿踊の基礎を習い、23歳からは笛を担当し、県内外での公演活動に参加。長年にわたり菅窪鹿踊の指導に積極的に取り組み、伝統芸能の伝承活動を通して児童の健全育成に貢献している。



菊地 敏彦さん
菅窪・37歳



机・北山崎森林
自然愛護少年団

【功労賞・団体】

三上翔希団長(田野畑小6年)

長年にわたり地域や国立公園内の森林美化・清掃・保全活動を実施。地域の森林自然環境を守り、体験学習活動などを通じて環境教育を自ら実践するなど、他団体の模範となる活動を展開している。

【功労賞・個人】

昭和161年から平成21年まで、大宮神楽伝承保存会員として旧羅賀小学校児童へ神楽を指導。小学校統合後も継続している。15年からは保存会長を務め、大宮神楽の振興と青少年の健全育成に貢献している。



下坂 弘次さん
羅賀・71歳

【栄誉賞・団体】

これまで取り組んできた一揆太鼓に加え、復興太鼓と位置付けた新曲「希繫ーキズナー」を修練し、村復興祈念祭などで演奏。村民に元気と勇気を与えている。

【栄誉賞・個人】

第59回県中学校総合体育大会陸上競技の1年女子1500mで第1位(大会記録)、第33回東北中学校陸上競技大会の同種目で第4位入賞など、各種大会に出場して上位入賞するなど顕著な成績を残した。



熊谷 百花さん
田野畑中1年

田野畑中特設太鼓部



190人が参加し教育の日のつどい

教育振興運動の成果を確認

「第1回田野畑村教育の日のつどい」を11月3日、アズビィホールで開催しました。小中学生やPTA会員、学校教職員など190人が出席。教育振興運動の成果などを確認しました。



田野畑中学校特設太鼓部が新曲「希繫ーキズナー」などを演奏してオープニングを飾った

小学生が思い描く 村の未来

小中学生が意見を発表

教育の日のつどいでは、将来の村を担っていく小中学生の考えを聞く「復興子ども会議」も開催しました。会議の司会を務める田野畑中3年の有谷拓夢君と佐藤空さんが「復興に向け、大人も子どもも頑張っている。10年、20年後の村を支えていく中心は、自分たち小中学生。自分たちにできることを考える機会にしたい」とあいさつし、会議がスタート。小中学生それぞれが思い描く、村の将来像を発表しました。

「村が大好き」と小学生

小学生は六つの地区からそれぞれ代表者2人が登壇。事前に話し

合った、▼自分が住む地区にあったらいいなと思うもの▼こんな地区がいいな▼こんな田野畑村になればいいなを発表。さまざまな意見が出された地区の発表後には、「便利だけど、自然豊かな」「明るく元気で、笑顔あふれる」「農業や漁業が盛ん」「みんなが助け合って、みんなが住みやすい」そんな田野畑村になつてほしいとまとめました。

最後に、発表した12人全員で「私たちは田野畑村が大好きです」と元気な声で締めくくると、会場は大きな拍手に包まれました。

〈田野畑地区〉

- ★田野畑地区にあつたらいいな
商店街…店が少ないから増やして
プール…村にプールがないから
公園…一つしかないから
温泉…行くまで時間がかかる
時計…時間が分からない
- ★こんな田野畑地区がいいな
森がいっぱいある
- ★こんな田野畑村になればいいな
みんなが明るい



熊谷宏生くん(6年)

鯉形遼くん(6年)



小学生は最後にこのスライドで締めくくった

〈沼袋地区〉

- ★沼袋地区にあつたらいいな
商店…高齢者は遠くまで行くのが大変
公園…遊ぶ場所がないから中ばかりで遊ぶ
キャンプ場…山も川もあって楽しさ味わえる
時計…道路にもあれば外でも時間分かる
街灯…暗くなると歩きにくく危ない
- ★こんな沼袋地区がいいな
自然が豊か にぎやかで人が集まる
- ★こんな田野畑村になればいいな
自然豊かな 優しくて元気
明るく笑顔あふれる



吉塚太くん(6年)

熊谷龍くん(6年)

〈羅賀地区〉

- ★羅賀地区にあつたらいいな
商店街…村外じゃないと買えない物がある
交番…万が一の時、ないと大変
電灯…暗くなるのが早く、学校帰りに怖い
高い防波堤…津波被害が起きてほしくない
津波の石碑…津波被害を忘れてほしくない
- ★こんな羅賀地区がいいな
明るく活気あふれる 伝統を大切にする
- ★こんな田野畑村になればいいな
人口が多い みんなが住みやすい
ごみが落ちていない 事故がない



大澤琴美さん(6年)

畑山雛花さん(6年)

〈浜岩泉地区〉

- ★浜岩泉地区にあつたらいいな
コンビニ…店が少なく、あると便利
公園…近くに遊ぶ場所が少ない
温泉…地区に癒されるものがない
街灯…秋や冬、帰り道が暗くて怖い
津波の石碑…震災のことを忘れてほしくない
- ★こんな浜岩泉地区がいいな
みんな優しい 明るく元気
- ★こんな田野畑村になればいいな
みんなで助け合って暮らせる



佐藤美緒さん(6年)

和山皓輝くん(6年)

〈机地区〉

- ★机地区にあつたらいいな
コンビニ…いつでも気軽に買い物したい
映画館…人が集まり、みんなが楽しめる
病院…高齢者が遠い病院に通うのは大変
運動場…運動や遊びで元気に仲良く
机浜番屋群…観光客に来てほしい、また見たい
- ★こんな机地区がいいな
元気で明るい 自然が豊か
たくさんの観光客が来て、活気のある
- ★こんな田野畑村になればいいな
農業や漁業が盛ん 自然が豊か
元気で明るい



平坂誠至くん(6年)

小松山怜華さん(6年)

〈島越地区〉

- ★島越地区にあつたらいいな
公園…安心して遊べる場所がない
生活に役立つ店…高齢者には近い方がいい
プール…泳げる場所がなくなった
家…家がなくなり、友達も遠くに行ってしまった
島越駅…震災で駅がなくなった
- ★こんな島越地区がいいな
明るく元気 安全で平和 優しい
- ★こんな田野畑村になればいいな
明るく元気



佐々木海斗くん(6年)

大泉夏望さん(5年)

中学生が思い描く 村の未来

自分たちにできること

中学生は、復興に貢献したいという気持ちで取り組んできたこれまでの活動を発表しました。支援への感謝の気持ちを形にして伝えるため、800個集めるとワクチン1本になるペットボトルキャップ収集活動、各地区へプラントと花苗を配って設置した花いっぱい運動、特設太鼓部の活動などを紹介。「田野畑村の未来を語る会」での話し合いを通し、新たに思ったこと、発見したことがあり、村の未来について考えや思いを持つことができたと話しました。

その、未来を語る会での考えを基にまとめた、10年後の田野畑村のために自分たち中学生にできることは、▼産業▼文化▼ボランティア▼生活▼防災の大きく5項目でした。

▼産業

- ① 1次産業を継ぐ…学んだり体験したりして、興味や楽しさを見つける
- ② 村の店で買い物をする…お金の循環をよくする
- ③ 村の特産品を買う…地産地消、産業の活性化
- ④ 新しく会社を興す…村のものを生かした事業を行う…PR
- ⑤ 村で仕事をする…若い力で産業を活性化

▼文化

- ① 伝統芸能を受け継ぐ…古くからの伝統を守る
- ② 祭り、行事に参加…交流の場になり明るくなる。文化を次の世代につなげていく

▼ボランティア

- ① 村にお金を送る…村づくり基金など村を離れてしまっても貢献できる
- ② 募金を呼び掛ける…村の現状を知ってもらい募金を呼び掛ける。復興資金に役立てる
- ③ 観光地を美しくする…ごみ拾いなどを行い、観光客に親しんでもらえるような場所作り
- ④ 自然を大切に…ごみ拾い、花植えなどで、村の豊かな自然を守る
- ⑤ 節約・節電…環境への負担を減らし、豊かな自然を守る

▼生活

- ① 村に残る…活性化や働き手の充実

▼防災

- ① 避難所・避難ルートの確認…災害時にいち早く安全を確保
- ② 防災マップの作成…危険な場所、安全な場所を確認し、防災意識を持ち続ける

村に提案すること

- 未来を語る会で話し合った、村に提案することは次の5項目でした。
- ① 震災のことを記録した石碑などを設置
 - ② 番屋群再生
 - ③ さらなる防潮堤の建設
 - ④ 高齢者もすぐに避難できる経路、安全な避難所の確保
 - ⑤ 村内に企業を誘致して仕事を増やす

まとめ

中学生は最後に、「これまでの復興学習を通し、復興のために自分たちにできることが多くあることに気付いた。これから復興し、さらに発展していく田野畑村。そんな中でも、震災のことを忘れずに後世に伝えていくことが大切」と締めくくりました。

本年度の村教育振興運動表彰で功労賞を受賞した「机・北山崎森林自然愛護少年団」は6月9日、北山森林公園内にヤマザクラの苗木25本を植樹しました。子どもたちと父母が協力して植えたこのヤマザクラは数年後、森をつくり、花を咲かせ、皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

そして、復興子ども会議で発表した小中学生は将来、村の復興を担っていく大切な存在になります。自ら考えて発表したこの経験は、大きなつぼみをつくり、きれいな花を咲かせてくれるはずです。

村は今、東日本大震災からの復興に向け、少しずつ、でも確実に前進しています。

私たちも、自分たちにできること、地域にできることを考えてみませんか。そこから、復興へ向けて歩み出した村の新たな地域づくり、村づくりのヒントが生まれるかもしれません。



復興子ども会議で考えを発表したり司会を務めたりした田野畑中学校生徒会の皆さん。左から、小野諒太君、大澤東華さん（以上2年）、佐藤空さん、佐藤奈央子さん、佐藤敬信君、菊池領太君、有谷拓夢君、阿部柊也君、道下遼君（以上3年）

河川環境おおむね

良好



村は毎年、村内河川の水質調査を実施しています。今年は10月20日、6河川12カ所から河川の水を採水して調査しました(下表)。

調査の結果、一部の項目を除いて環境基準の最高ランク(AA類型)の基準を満たしており、おおむね良好な水質が保たれていることが分かりました。

河川の水質は、周辺の環境や季節によっても大きく変動します。また、皆さんが日ごろ何気なく流している生活雑排水の影響も受けます。野菜くずを流しに流さないことやお風呂の残り湯で洗濯をして排水量を減らすなど、毎日の生活でのちょっとした気配りが河川の水質を良好に保つことにつながります。

これからも、みんなできれいな川を守りましょう。

◆問い合わせ先：生活環境課(☎3412114 内線21)

■検査結果(測定日・10月24～26日)

測定場所	平均測定値 (マイクロシーベルト/時)
田野畑小学校	0.072
田野畑中学校	0.061
たのはた児童館	0.051
若桐保育園	0.064
役場	0.087
アズビィ学習センター	0.072
村営野球場	0.058
思惟大橋公園	0.051
北山崎園地	0.056
山海ろばたハウス	0.087
鵜の巣断崖園地	0.060

※測定結果は、文部科学省による校庭、園庭の空間線量率の目安(1時間あたり1マイクロシーベルト)を下回っています

放射性物質濃度検査

全箇所が目安以下

村は、児童館や小中学校、各公共施設、観光地の放射性物質濃度の検査を毎月行っています。9月に行った検査では、全箇所で文部科学省が示す目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)以下となりました。昨年10月からこれまで行ってきた検査で、放射性物質が目安を超えたことはありません。

農産物の放射性物質濃度の検査は県が行っています。これまで、生シイタケ、干しシイタケ、菌床シイタケ、牧草などを検査。いずれも測定結果は「不検出」または「基準値以下」でした。

10月26日には村産ダイコン、11月15日には村産ダイズを検査。測定結果は「不検出」でした。

◆問い合わせ先

各施設…生活環境課(☎34-2114 内線20)

農産物…産業振興課(☎34-2111 内線72・73)

■除雪しない(通行止め)路線と区間

路線名	区間など
村道和田平井賀線	大澤宏さん宅付近～釜谷ノ沢
明戸北山線	明戸～村道机西線の入口付近
	林道七ツ森線入口～普代境
久春内線	村道明戸北山線接続～県道
白坂線	旧県道
切牛線	漁協倉庫～菅原神社
田代線	砂防ダム～岩泉町境
萩牛線	砂利道
長内沢線	下閉伊生コンより上流
高森線	テレビ中継所
北山港線	県道～北山漁港
大平線	佐々木ミワさん宅～佐々木留助さん宅
松前沢線	松前沢橋～浜岩泉専用水道配水池
釜谷ノ沢線	旧県道
和野線	三上哲雄さん宅～三上昭雄さん宅
田野畑明戸線	三田地錦光さん宅～坂下達男さん宅
島越浜岩泉線	村道鉄山線分岐点～浜岩泉
沼袋三沢線	佐々木安吉さん宅～岩泉町夏節地区
大芦北線	国道45号～農免農道浜岩泉線
切牛真木沢線	砂利道区間(災害のため)
真木沢港線	全線(災害のため)
農免農道浜岩泉線	浜岩泉専用水道配水池～和山吉治さん宅
林道真木沢線	全線(災害のため)

理解と協力を
願います

冬期間通行止め

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、積雪時から3月下旬まで通行止めとします(左表)。

③道路への雪出しは危険なのでやめてください
④路上駐車は除雪の妨げになるのでやめてください
⑤路面状況に十分注意して走行してください

①深夜や早朝の作業に理解をお願いします
②各家庭の玄関前の除雪に協力ください

◆問い合わせ先：地域整備課(☎3412113 内線53)、岩泉土木センター(☎2213116)、三陸国道事務所久慈維持出張所(☎01945312790)

予防接種をお早めに

村診療所は11月1日からインフルエンザの予防接種を実施しています。村内に住所がある人が村診療所で接種を受ける場合の接種料は無料。早めの接種を心掛け、感染予防を心掛けましょう。

11月19日現在、村診療所での接種状況は左表のとおりです。1歳以上の対象者3798人に対し、接種者は674人。接種率はわずか17・7%にとどまっています。

インフルエンザワクチンは、効果

■村診療所での接種者数（11月19日現在）

区分	接種済	対象者	割合
幼 児	66人	145人	45.5%
小学生	51人	171人	29.8%
中学生	26人	124人	21.0%
高校生	12人	116人	10.3%
一 般	194人	1,988人	9.8%
65歳以上	325人	1,254人	25.9%
計	674人	3,798人	17.7%

が出るまでに約2週間必要（個人差があります）。流行してから受けても間に合いません。いつ流行するか分からないインフルエンザを予防するには、早めに予防接種を受けることが大切です。一人一人の心掛けで、感染や拡大を防ぎましょう。

◆実施期間：平成25年1月31日まで（水曜日午後、土日祝日、年末年始を除く）

※ワクチンが無くなりしだい終了
◆対象：満1歳以上の村民
◆接種料：無料

◆受付時間

○高校生以下：午後4時～4時30分（月・木・金曜日のみ）

○一般：午前9時～11時30分
午後2時30分～4時

◆持ち物：予診票、高校生以下は母子健康手帳、予防接種手帳（65歳以上で持っている人）

◆その他：村診療所以外での接種を希望する人は事前に担当課に連絡してください

◆問い合わせ先：保健福祉課（☎3313102）

村芸能フェスティバル

笛や太鼓の音響かせ 華やか、勇壮に

2年に1度、村の芸能が一堂に会する
「たのはた芸能フェスティバル」
今年は村内外10団体が出演
熱演で観客を魅了した



浜岩泉地区の児童は弥五兵衛太鼓



田野畑小羅賀地区の児童は大宮神楽「綾遊び」を軽やかに舞った



児童も大人も勇壮な舞を披露した菅窪鹿踊



軽やかに甲地剣舞



六原鬼剣舞は勇ましい舞で魅了



会場には笛や太鼓の音が響いた



観客の間近で力強く舞う甲地鹿踊

田野畑村の皆さん
こんにちは

気軽に相談電話の利用を

号を残していただければ、折り返し連絡をします。

誰かに話してみると、それだけで心が少し軽くなったり、解決のヒントが見つかったりするものです。

どんなことでも構いません。ただ無性に人恋しくて誰かとちよつとおしゃべりしてみたい時にも、気軽に電話をしてください。左下の番号に加え、今月から「ＡＣＯ震災」が助っ人として参加します。

文・明星大学総合健康センター
副センター長 木村淳子

ＡＣＯ震災
こころのほっとライン
☎ 03-6276-7629
☎ 090-5341-9907
※受付は毎週土曜日
正午～午後8時

☎無料相談電話（通話料はかかります）
月曜日…042-591-9015（担当：黒岩）
水曜日…03-3481-8420（担当：中村）
金曜日…042-591-5856（担当：木村）
※受付時間…午後1時～5時

たのはた芸能フェスティバル（村芸術文化協会主催）は11月11日、アズビイホールで開かれ、約200人が伝統芸能などを楽しみました。開会式で村芸術文化協会の畠山務会長は「芸術文化は地域の宝です。今日は皆さんが芸能に触れる貴重な機会。精いっぱい演技に声援をお願いします」とあいさつ。

寿慧会と若鶴会は、着物をまといあでやかに舞踊を披露。田野畑小の児童たちは、郷土芸能の菅窪鹿踊や甲地剣舞、大宮神楽、創作太鼓の弥五兵衛太鼓で大人顔負けの熱演。甲地鹿踊と大宮神楽、菅窪鹿踊は、それぞれの保存会が長い間受け継いできた伝統の舞を勇壮に披露しました。

村外からは、岩手県民謡協会（盛岡市）と六原鬼剣舞（金ヶ崎町）がゲスト出演。民謡協会はホールに力強い歌声を響かせ、鬼剣舞は勇ましい舞を披露してくれました。

出演者の熱演に、会場を訪れた皆さんからは、温かい拍手が送られていました。

お知らせ

村営住宅の入居者を募集

- ◆募集住宅…菅窪団地
- ◆住所…菅窪 211-1
- ◆規模…平屋一戸建36.45㎡(和室2室、居間兼台所、トイレ、浴室)
- ◆使用料…月額5,000円～
※入居者の所得により決定
- ◆敷金…月額使用料の3カ月分
※入居許可日から10日以内に納付
- ◆入居可能日…12月中旬
- ◆申込期限…12月10日(月)
- ◆入居資格…住宅に困っていて、村内に住所か勤務先がある人
- ◆その他…申し込み多数の場合は住宅困窮度により選考
- ◆申し込み・問い合わせ先…地域整備課 (☎34-2113 内線51)

冬タイヤ装着を早めに

車の冬支度は済みましたか。今年も積雪が心配な季節になりました。冬タイヤへの交換、チェーンの準備など、早めの対策で安心・安全な冬道走行を心掛けましょう。

肺炎球菌予防接種を無料

- ◆対象…満65歳以上の慢性疾患患者で、過去5年以内に予防接種を受けていない人
- ◆接種日時…月～金曜日(ただし水曜日午後と祝日除く)の午前9時～11時30分、午後2時30分～4時
- ◆予約…希望日の1週間前までに診療所(☎33-3101)に予約
- ◆その他…無料は1人1回
- ◆問い合わせ先…保健福祉課 (☎33-3102)

住宅用火災警報器の設置を

- 住宅用火災警報器の設置が、昨年6月1日から義務になりました。しかし設置はなかなか進まず、全国的に住宅火災で多くの死傷者が出ています。火災の早期発見、命を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。
- ◆届け出…設置した人は、田野畑分署に届け出てください。来署するほか、電話やFAXでも届け出が可能です
 - ◆その他…消防署は、警報器や消火器などの訪問販売は行っていません。悪質な訪問販売には十分注意してください
 - ◆届け出・問い合わせ先…消防田野畑分署 (☎34-2100、Fax34-2354)

中小企業など事業再開を支援

- 県と村は、東日本大震災で滅失した事業所が村内で事業を再開する場合、次のような支援を行っています。
- ◆対象…滅失した事業用資産のうち、事業再開に不可欠な建物、付属設備、構築物、機械、装置の取得経費
 - ◆補助率…補助対象経費の2分の1以内
 - ◆限度額…2000万円
 - ◆要件
 - ①取得費100万円以上。ただし、機械や装置で一部対象にならないものがあります
 - ②事業再開年度から3年後の年度末までに、被災時の従業員数を回復すること
 - ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課 (☎34-2111 内線63)、村商工会 (☎34-2304)



交通事故に気を付けましょう

- 12月10日まで冬の交通事故防止県民運動を展開します。積雪や凍結で路面状況が悪化する季節。ゆとりを持った運転で交通事故を防止しましょう。年末年始は飲酒の機会が増えます。飲酒運転は絶対にやめましょう。
- ◆冬の安全運転(いちにっさん)運動
 - ①一割スピードダウンしよう
 - ②二倍の車間距離をとろう
 - ③三分早めに出発しよう
 - ◆飲酒運転4(し)ない運動
 - ①運転するなら酒を飲まない
 - ②運転者に酒を提供しない
 - ③飲酒者に車を提供しない
 - ④飲酒者の車に同乗しない
 - ◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線15)

若桐でミニコンサート開催

- 宮古市で活動する3人組音楽グループ「Grazia」を招き、親子クリスマスミニコンサートを開催します。バイオリン、フルート、キーボードが奏でるアニメソングなどの生演奏を楽しみに来てください。
- ◆日時…12月15日(土)
午前10時～10時40分
 - ◆場所…若桐保育園
 - ◆入場料…無料
 - ◆その他…託児を希望する人は7日(金)までに申し込んでください
 - ◆問い合わせ先…村地域子育て支援センター (☎37-3577)

12月28日で拾得物返却を終了

- 津波被災地からの拾得物は、持ち主が特定できた物件はその都度返還を行い、不明な物件は岩泉警察署に届け出を行いました。警察署での保存期間中に持ち主が現れなかった物件は村に返還され、昨年12月に縦覧会を実施。その後は、写真による閲覧を行って返却してきました。縦覧会から1年が経過したことから、12月28日で拾得物返却事業を終了します。写真での閲覧を希望する人、心当たりのある人は、早めに問い合わせてください。
- ◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線11)

くらしのなんでも相談会を開催

- ◆日時…12月13日(木)、27日(木)
午前10時～正午
- ◆場所…村保健センター
- ◆申込期限…開催日の前日(申し込みなくても相談できますが、申込者優先となります)
- ◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古(☎0193-64-2400)、保健福祉課 (☎33-3102)

職業・生活・心の相談会開催

- ◆日時…12月12日(水)
午後1時30分～3時
- ◆場所…宮古公共職業安定所
- ◆相談内容…生活資金貸付相談、生活保護相談、消費生活相談、体と心の健康相談、職業・職業訓練相談
- ◆問い合わせ先…ハローワーク宮古 (☎0193-63-8609)

住宅再建などを支援します

- 大震災で被災した住宅を新築や改修する場合、次のような補助を受けることができます。
- ◆新築・購入(28年度まで)
 - ①バリアフリー
床面積75㎡未満…40万円
75㎡～120㎡未満…60万円
120㎡以上…90万円
 - ②県産材使用
使用量10㎡以上…20万円
20㎡以上…30万円
30㎡以上…40万円
 - ◆補修・改修(25年度まで)
補助率2分の1、組合わせ可
 - ①補修…上限30万円
 - ②改修
耐震化…上限60万円
バリアフリー…上限60万円
県産材使用…上限20万円
 - ◆利子補給補助
 - ①新築…当初5年間の利子を補助(借入上限1460万円、金利上限2%、28年度まで)
 - ②補修・改修…当初5年間の利子を補助(借入上限640万円、金利上限1%、25年度まで)
 - ③既往債務…新築や補修、改修した場合、既往債務の5年間分の利子相当額を補助
 - ◆宅地の復旧(25年度まで)
被災した宅地の法面保護、配水施設設置、地盤の補強・整地、擁壁の設置・補強などをする場合、その経費の2分の1を補助。
1宅地当たり上限200万円、下限10万円
 - ◆その他…詳しい内容は問い合わせてください
 - ◆問い合わせ先…岩手県県土整備部建築住宅課 (☎019-629-5931)

危険物試験の準備講習開催

- 危険物取扱者試験に向けた準備講習を開催します。
- ◆場所・期日
 - ①奥州金ヶ崎消防本部
12月15日(土)～16日(日)
 - ②県高校教育会館(盛岡市)
12月19日(水)～20日(木)
 - ◆時間…午前9時～午後4時
 - ◆講習内容…乙種第4類、丙種
 - ◆受講料…会員・学生8,500円、非会員13,500円
 - ◆申込期限…各講習日1週間前
 - ◆申込書配布…消防田野畑分署
 - ◆申し込み・問い合わせ先…宮古地区危険物安全協会(カメイ(株)宮古支店内 ☎0193-62-3611)

電話帳を配達・回収します

- N T T 東日本では12月中に、新しい電話帳を各家庭や事業所にお届けします。その際、現在使用している電話帳を回収しますので、配達員に渡してください。不在などの場合、後日あらためて回収に伺いますので、タウンページセンタにご連絡ください。地球環境保護のため、リサイクルに協力をお願いします。
- ◆問い合わせ先…タウンページセンタ (☎0120-506-309)

12月の無料法律相談

- ◆期日…12月6日(木)、13日(木)、15日(土)、20日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み…宮古市市民相談室 (☎0193-62-2111)

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課（12月18日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 11月21日にリニューアルオープンしたのは？
A) ホテル羅賀荘
B) アズビィホール

Q2 ふるさとCM大賞で、本村が受賞したのは？
A) 大賞
B) ほのぼの賞

■前号(10月号)の正解
Q1→B、Q2→A
■当選者(敬称略)
上山明美（田野畑）、鉾形タヨ（田野畑）、熊谷正初（田野畑）

おめでた おくやみ

〔平成24年10月届け出分〕
（一部敬称略）

●健やかに ～誕生～
佐々木 飛人（ひびと）くん
駿也・笑利奈 島 越
佐藤 颯和（そうわ）くん
和正・由美子 切 牛
山根 楓雅（ふうか）くん
雄斗・美里 羅 賀
北田 汐帆（しほ）ちゃん
智巳・由希子 北 山
菊地 桜輔（おうすけ）くん
大・香雅里 沼 袋

■安らかに ～お悔やみ～
長久保 弘 子（74）机
渡 邊 いつ子（87）菅 窪

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

2533万1,406円 （11月20日現在）

426件（村内95件、県内128件、県外203件）

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課（☎34-2111 内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：12月2日(日)～1月6日(日)

月 日	行 事	場 所	時間	問い合わせ先
12月2日 (日)	第43回村歳末たすけあい演芸会	アズビィホール	10:00～12:00	村社会福祉協議会 (☎33-3025)
4日 (火)	第2回 乳がん・子宮がん検診	アズビィホール	13:00～14:30	保健福祉課
	行政相談	役場談話室	10:00～15:00	総務課 (内線13)
	特設人権相談所	役場第一会議室	10:00～15:00	生活環境課 (内線23)
10日 (月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
19日 (水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
22日 (土)	診療所休診			診療所
25日 (火)	固定資産税3期・国保税7期納期限			税務課 (内線31・32)
	後期高齢者医療保険料6期・介護保険料7期納期限			生活環境課 (内線22・23)
28日 (金)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
	仕事納め	役場は12月29日から1月3日まで閉庁します。各種手続きなどは早めに済ませてください。		
1月4日 (金)	仕事始め			
6日 (日)	新年交賀会 村勢功労者表彰式	ホテル羅賀荘	14:00～16:00	総務課 (内線10)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：12月19日(水)～20日(木)

◆はまぎくコース（机・北山方面）

月 日	場 所	時 間
12月19日 (水)	グレープホームつくえ付近 北山地区総合センター	9:40～10:00 10:10～10:25

◆たんぽぽコース（真木沢・切牛方面）

月 日	場 所	時 間
12月19日 (水)	佐藤進氏宅付近 望洋館	11:05～11:20 11:30～11:45

◆おきなぐさコース（沼袋・甲地方面）

月 日	場 所	時 間
12月20日 (木)	産直プラザ尾肝要 山栄会リラス倶楽部付近 甲地公民館	9:45～10:00 10:10～10:40 10:50～11:05

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34-2226）

はまなす
掲 示 板

ふるさとCM「ほのぼの賞」受賞

岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」の審査会が11月18日、盛岡市で開催されました。本村のCMは、田野畑小6年生が出演した長縄飛びを題材にしたもの。「皆さんが支えてくれるから、どんな困難も乗り越えられる」というメッセージを15秒に込めました。審査の結果、特別賞「ほのぼの賞」を受賞。副賞として年間50回、岩手朝日テレビで放送されます。審査会の模様は、12月29日(土)の午後4時30分から同局の番組で放送されます。ぜひご覧ください。



審査会で山本晋也監督のインタビューに答える田野畑小の児童たち



生徒たちの熱演に会場には涙する観客の姿も見られた

生徒の全校創作劇熱演に感動

田野畑中学校の文化祭が10月28日、「伝える」をテーマに開催されました。午前中の合唱コンクールは、クラスごとに課題曲と自由曲を合唱。体育館には優しく力強いハーモニーが響き渡りました。午後は全校生徒が役者やスタッフを担当する全校創作劇「幻想の舞よ…ふたたび 村よ生きかえれ その舞は永遠に…」を上演。廃れてしまった村を立て直そうと、鹿踊の復活に奔走する主人公「伝助」や、取り巻く人間模様を熱演し、会場を感動に包み込みました。

アサヒビールから250万円届く

アサヒグループホールディングス（本社東京、泉谷直木社長）から11月19日、村に震災復興支援の寄付金250万円が届きました。これは、7月から10月に同社が製造した「クリアアサヒ缶350ミリリットル」と「アサヒ秋宵」の売り上げの一部。アサヒビール岩手支社の菅原雅之支社長が役場を訪れ、上机莞治村長に目録を手渡しました。上机村長は「大切にに使わせていただきます」と感謝。この寄付金は、ホテル羅賀荘復興イベントの開催経費などに活用する予定です。



アサヒビール岩手支社の菅原支社長から上机村長に目録が手渡された



深渡 昊佑^{こうすけ}くん（1歳4カ月）
年和さん・美智子さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

いつもバスやダンプを眺めたり、ボールで遊んだりしています。家の中を走り回ったりもする、ちょっとだけやんちゃな子。優しい子に育ってね。

わが家の
アイドル



根本地 心愛^{しいあ}ちゃん（1歳6カ月）
凌さん・明美さん＝明戸＝

お母さんからのひとこと

やんちゃで好奇心旺盛な子。踊りが大好きで、音楽が聞こえるとすぐに踊り出します。優しく伸び伸び、名前のとおり心から愛される人になってね。



編集ごぼれ話

今年も残すところあと1カ月。冷え込む日が多くなってきましたが、皆さん体調崩していませんか？ インフルエンザの流行も心配な季節。診療所での予防接種は無料ですので、ぜひ早めに受けてください。みなで感染や拡大を防ぎましょう▼11月18日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」の審査会に参加しました（16ページに掲載）。10回目の参加ですが、実は広報担当がCM制作するのは初めて。これまでは岩泉高校田野畑校の放送部をお願いしていましたので、知識も経験も機材もゼロ…。それでも、CMに出演してくれた田野畑小6年生が長縄飛びを頑張ってくれたおかげで「ほのぼの賞」をいただくことができました。6年生のみんな、本当にありがと！▼21日にはホテル羅賀荘が営業再開。夕方には花火も打ち上がりました。実は、花火の写真撮影も初めての挑戦。結果は2ページ掲載写真のとおり、まだまだ修行が必要な結果になりました（汗）。（政策推進課 佐々木和也）